

## 株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
剰余金の配当の基準日	毎年8月31日
定時株主総会	毎年11月
単元株式数	100株
上場金融商品取引所 (証券コード)	東京証券取引所 (6915)
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により 電子公告による公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.chiyoda-i.co.jp/">http://www.chiyoda-i.co.jp/</a>
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 (郵便物送付・電話照会)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

## お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、前記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

証券コード：6915  
  
 CHIYODA INTEGRE CO., LTD.  
 千代田インテグレ株式会社

第57期 年次報告書  
 2011.9.1 ▶ 2012.8.31

# move



## 株主優待

**対象株主** 毎年8月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様

- 優待内容**
- 保有株式数 100株以上1,000株未満  
当社オリジナル図書カード 1,000円券
  - 保有株式数 1,000株以上  
当社オリジナル図書カード 3,000円券  
さらに100株以上の株式を1年間を超え、連続所有されている株主様\*には1,000円の図書カードを追加贈呈  
※中間期末日および期末日の株主名簿に同一株主番号で連続3回以上記載または記録された株主様



※図書カードのデザインは変更する場合があります。

**贈呈期間** 毎年11月下旬(株主総会終了後)の送付を予定しています。



## 数字でわかる千代田インテグレ

多様なニーズに応える“GLOBAL PARTS SUPPLIER”  
千代田インテグレの強みと可能性が広がります。

# 33

### 世界33拠点

お客様の生産体制に合わせて、  
グローバル展開を  
さらに推進しています。

当社は国内12拠点、世界でも中国、  
東南アジアをはじめ21拠点を置く  
グローバルネットワークを築き、  
どの地域でも同質のサービスを  
スピーディーに提供しています。  
2012年には新たに台湾、フィリピン  
に販売拠点を設立し、お客様サポ  
ートのさらなる充実を目指してまい  
ります。



千代田電子製造  
(天津) 有限公司

CHIYODA INTEGRÉ  
VIETNAM CO., LTD.



# 9

### 9つの事業分野

暮らしのそばに、“そと”ある。  
当社の技術は多彩な分野で  
活躍しています。

プリンタ、テレビ、スマートフォン、  
自動車など、さまざまな業界に幅広く  
展開しています。

- OA機器
- AV機器
- 通信機器
- 自動車
- 電子部品関連部材
- アミューズメント機器
- 家電機器
- 建材・生活用品
- 医療・健康機器



# 0

### 環境負荷物質「ゼロ」へ

社会に責任ある企業として、  
環境保全にも積極的に  
取り組んでいます。

当社グループは、国際的な視野の  
もとで環境マネジメントシステムを  
確立し、環境負荷物質を「買わない・  
売らない・扱わない」ことで環境負  
荷物質ゼロ化を目指します。さらに、お  
客様のニーズにお応えすべく、環境  
にやさしいオリジナル素材を開発  
し、商品というかたちで提供してま  
いります。



ノンハロゲン・耐燃  
などの環境対応新  
素材を開発



# ∞

### サプライネットワーク

あらゆる品目を取り扱える独立系  
メーカーとして、確かな信頼の  
ネットワークを築いています。

どの系列にも属さない“あらゆる品  
目を取り扱える強み”で、仕入先様  
のニーズとお客様のニーズを繋ぎ、  
多岐にわたる商材を市場に提供し  
ています。「こんなものが欲しい」  
「このアイテムを売りたい」といった  
多様なニーズに対し、グローバルな  
ネットワークを生かした柔軟な発想  
でお応えします。



あらゆるニーズに対応し  
多彩な高機能製品を実現するコア技術  
「ソフトプレス」。

ソフトプレスとは、「柔らかい素材」すなわち、あらゆる化成  
品素材を自在に加工する当社のコア技術。この技術を中心に、  
品質・コスト・スピード・環境対応の全てを考慮することで、  
お客様に最適な素材の提案・最適な加工方法の提案・最適  
な設計の提案をするトータルサービスを可能にします。  
(2004年に商標登録)



シールド・放熱部品



フィルム部品



ウレタン・フェルト・両面テープ部品



印刷部品



光学フィルム部品



樹脂成形部品

## トップメッセージ



### ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

当社、第57期（平成23年9月1日から平成24年8月31日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況と主要項目につきましてご報告申し上げます。今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **小池 光明**

### 当期の経営環境と業績について

当期における経済情勢は、タイの洪水によって世界的なサプライチェーンが混乱し、生産活動が一時停滞したものの、アジア経済は個人消費を下支えに底堅い成長を保ち、米国経済は生産活動が拡大して緩やかな回復基調をたどりました。しかしながら、ユーロ圏での債務問題の深刻化が懸念され、また中国経済にも一服感が始め、世界経済の先行きに対する不透明感が深まってきております。国内では、東日本大震災からの復興需要に牽引され、金融市場においても改善の兆しが見られる局面もありました。しかし、世界的な需要減速による在庫調整が顕著となり、長期化する円高に伴って産業の空洞化が急速に進むなど、製造業を取り巻く環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、営業利益を確保できる体制を整えるべく、国内において組織再編・人員削減を図る経営合理化策を実施する一方で、将来を見据え海外における新拠点を開設するなど、収益力の改善にグループ一丸となって取り組んでまいりました。

地域別に要約いたしますと、国内では一部顧客の事業縮小、そして東南アジアではタイの洪水による影響が大きかった一方、中国ではスマホ関連の下支えがあり、北米においても車載品、大型TV関連の受注が堅調に推移しました。

この結果、当期の連結業績につきましては、売上高は35,462百万円（前期比3.2%減）、営業利益は1,130百万円（前期比12.3%減）、経常利益は1,183百万円（前期比34.0%増）、当期純利益は102百万円（前期比0.9%減）となりました。

### 今後の成長に向けて

当社グループが主として取り扱っている電子・電気機器の機構部品は、急激な技術革新や顧客ニーズの多様化に加えて、生産面でもグローバル化が進むなど目まぐるしく変化しております。特に最近では、日本の各メーカーによる製造拠点の海外移管や現地メーカーへの業務委託が、円高の進行によってますます加速する中で、世界的に存在感が高まってきている外資系メーカーとの取引拡大が重要な課題となっております。これらの急激に変化する事業環境の中で、市場の動向を機敏に嗅ぎ取る感性と対応のスピードを上げることで、真のグローバル企業としてのブランドの確立を目指します。そのためにも、ソフトプレスという事業を中核に据え、地域・商品・顧客の3事業領域を拡大していくことで、トップシェアへの挑戦を行うだけでなく、世界情勢の変化にも対応できる事業基盤の強化に取り組み、収益力の改善を継続して行ってまいります。

そして、その実現に向けて、工程改善や原価低減を図り生産性の向上に努め、外資系企業との取引の拡大、原材料の現地調達強化など、地の利を活かした施策を進めてまいります。そして将来を見据え、新たな事業領域の拡大、為替対策を含めた財務基盤の安定化に積極的に取り組み、競争力を高めてまいります。

また、当社グループでは、企業の社会的責任を念頭に置き、リスク管理やコンプライアンスの遵守を徹底し、企業価値の向上に結びつけてまいります。

### 次期の見通し

引き続き厳しい経営環境が想定される中、当社グループにおきましては、構造改革の1つとして、日本国内の生産見直しに着手し、現状の事業環境に見合う体制作りを今後も継続して推進してまいります。また、海外では洪水の直接被害を受けたタイ現地法人が回復基調であり、さらに新しく拠点を開設することで市場拡大に結びつけ、事業領域の拡大と収益力の改善に取り組んでまいります。

これらの状況を踏まえ、次期の連結業績につきましては、売上高36,000百万円、営業利益1,400百万円、経常利益1,300百万円、当期純利益800百万円を見込んでおります。

### 株主の皆様へ

当社グループは、株主の皆様に対して安定した利益還元を継続して実施することを基本方針としております。また、内部留保につきましては、今後予想される事業環境の変化に対応すべく、多様化した市場ニーズを見据えた有効投資を行ってまいります。

以上の方針に基づき、この度の期末配当金につきましては、1株あたり27円とさせていただきます。

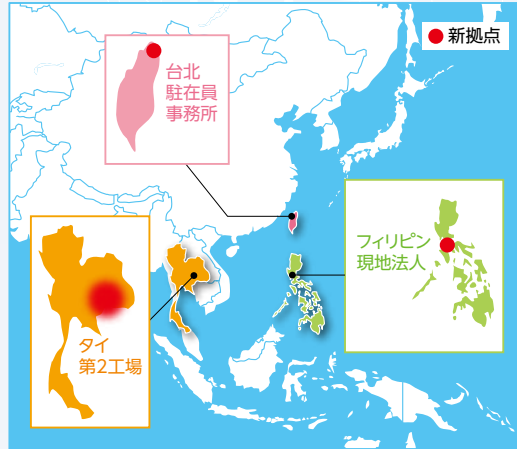
当社グループは「グローバルパーツサプライヤー」として、これからも着実かつ持続的な企業成長を遂げてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# TOPICS トピックス

## 新拠点を 台湾、フィリピン、タイに

2012年7月、台湾台北市に台北駐在員事務所を開設し、そして同年8月には、フィリピンのバタンガス地区に販売子会社としてフィリピン現地法人を設立いたしました。今後は、既存顧客のサポートをより一層充実させるとともに、外資系企業を中心にした新規顧客の獲得、高品質・低コストの現地材の調査を進めてまいります。

また現在、タイ第2工場の設立準備を進めております。今なお、復旧途上である現・タイ工場と合わせて、タイ国におけるシェアの拡大および洪水等の災害リスク分散を図ってまいります。



## サンフェルト ショールームオープン

当社子会社のサンフェルト株式会社の本社ビル1・2階に、2012年9月よりショールームがオープンしました。1階ではシートフェルト・ワッペン・キットなど約1,000点、2階では素材生地・ネパール雑貨など約3,000点、合わせて4,000点以上のアイテムを、参考作品を交えて展示・販売しております。

今後、館内においてワークショップを定期的に関催するほか、ウェブサイト上では通信販売も開始いたします。スカイツリーや雷門などお近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

※さらに詳しい情報はこちらから  
サンフェルト(株)ホームページ▶▶ <http://www.sunfelt.co.jp/>

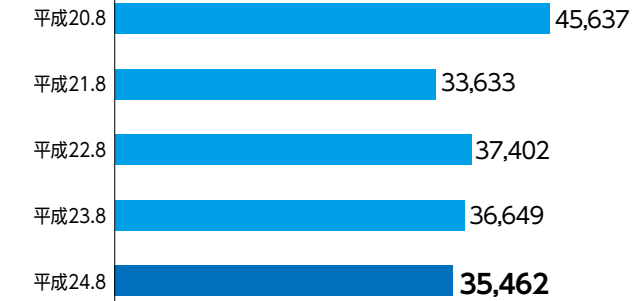


サンフェルト  
ショールーム

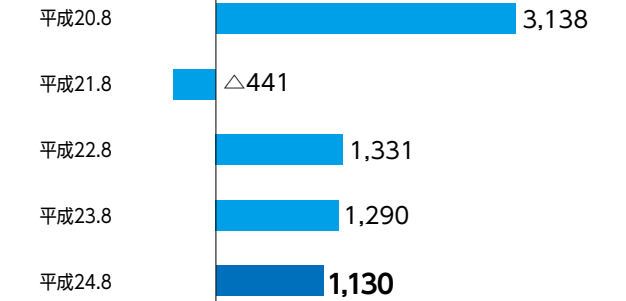
1階 手芸品販売、  
作品展示スペース

## グラフで見る業績の推移

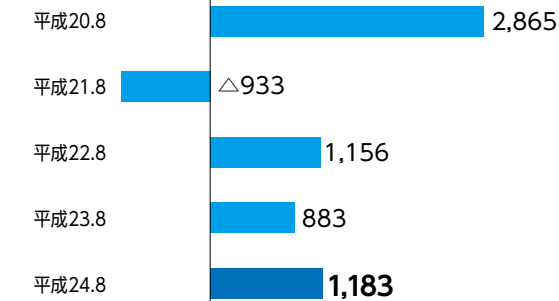
■ 売上高 (単位：百万円)



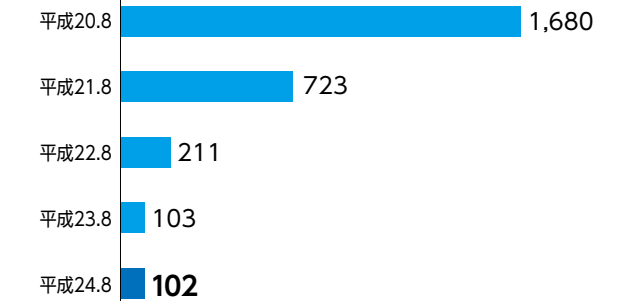
■ 営業利益 (単位：百万円)



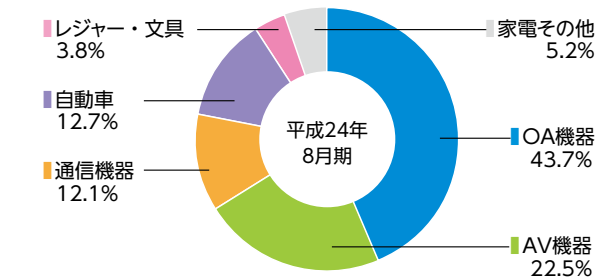
■ 経常利益 (単位：百万円)



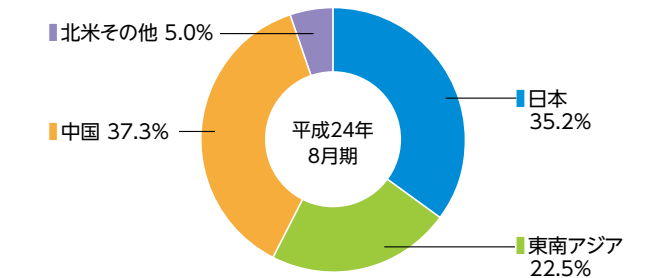
■ 当期純利益 (単位：百万円)



■ 業種別売上高構成比



■ 地域別売上高構成比



# 連結財務データ

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

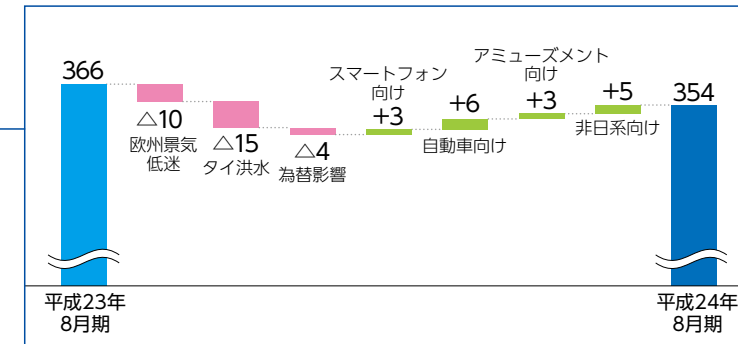
	前期 平成23年8月31日現在	当期 平成24年8月31日現在
<b>1 資産の部</b>		
流動資産	19,415	20,066
固定資産	12,701	11,282
有形固定資産	8,598	7,606
無形固定資産	734	482
投資その他の資産	3,368	3,193
資産合計	32,116	31,348
<b>2 負債の部</b>		
流動負債	9,029	8,809
固定負債	1,008	1,062
負債合計	10,037	9,872
<b>3 純資産の部</b>		
株主資本	24,811	24,458
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	20,877	20,525
自己株式	△848	△848
その他の包括利益累計額	△2,732	△2,982
その他有価証券評価差額金	△104	△91
為替換算調整勘定	△2,627	△2,890
純資産合計	22,078	21,476
負債・純資産合計	32,116	31,348

## 連結損益計算書 (要旨)

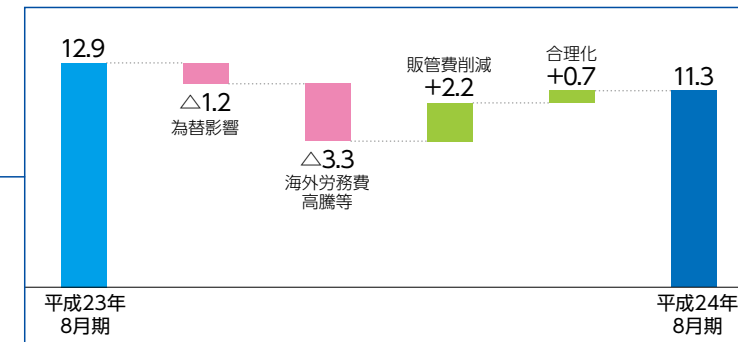
(単位: 百万円)

	前期 平成22年9月 1日～ 平成23年8月31日	当期 平成23年9月 1日～ 平成24年8月31日
売上高	36,649	35,462
売上原価	29,410	28,611
売上総利益	7,238	6,851
販売費及び一般管理費	5,948	5,720
<b>営業利益</b>	<b>1,290</b>	<b>1,130</b>
営業外収益	204	171
営業外費用	611	119
経常利益	883	1,183
特別利益	38	338
特別損失	511	1,317
税金等調整前当期純利益	409	204
法人税、住民税及び事業税	282	242
過年度法人税等	△62	—
法人税等調整額	87	△140
法人税等合計	306	102
少数株主損益調整前当期純利益	103	102
当期純利益	103	102

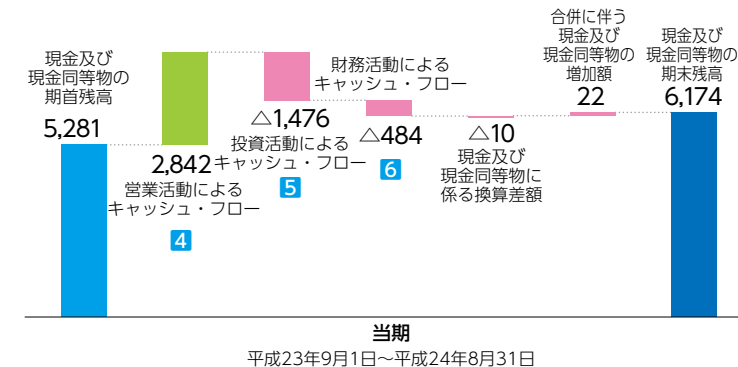
## 売上高の増減要因 (単位: 億円)



## 営業利益の増減要因 (単位: 億円)



## 連結キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



### POINT

- 1 資産の部**  
資産合計は、主に建物及び構築物の減少により、前連結会計年度末に比べ767百万円減少しました。
- 2 負債の部**  
負債合計は、主に短期借入金の減少により、前連結会計年度末に比べ165百万円減少しました。
- 3 純資産の部**  
純資産合計は、主に利益剰余金の減少及び為替換算調整勘定の減少により、前連結会計年度末に比べ602百万円減少しました。

### POINT

- 4 営業活動によるキャッシュ・フロー**  
営業活動の結果、得られた資金は2,842百万円(前期比32.9%増)となりました。これは主に、減価償却費が1,174百万円、事業再構築損失が967百万円及び保険金の受取額が758百万円であったことに対して、保険差益が294百万円、事業再構築損失の支払額が365百万円、法人税等の支払額が325百万円であったこと等によるものです。
- 5 投資活動によるキャッシュ・フロー**  
投資活動の結果、支出した資金は1,476百万円(前期比52.2%減)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出2,186百万円によるものです。
- 6 財務活動によるキャッシュ・フロー**  
財務活動の結果、支出した資金は484百万円(前期比16.4%減)となりました。これは主に、配当金の支払額365百万円によるものです。

## 株式情報／会社情報

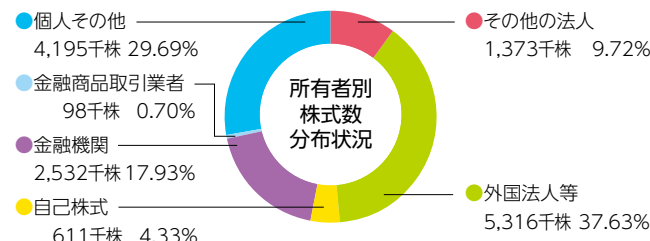
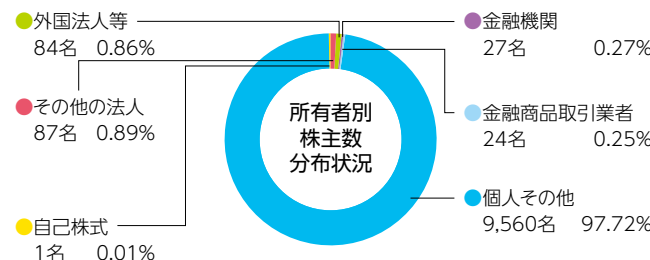
### 株式の状況 (平成24年8月31日現在)

発行可能株式総数	32,600,000株
発行済株式の総数	14,128,929株
株主数	9,783名

### 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
いちごトラスト	3,341	23.65
ピービーエイチ フォー ファイナリティ ロー プライズ ストック ファンド	500	3.54
株式会社三菱東京UFJ銀行	429	3.03
日本生命保険相互会社	423	2.99
日本毛織株式会社	385	2.72
東京中小企業投資育成株式会社	378	2.67
ユービーエス エイジー ロンドン アジア エクイティーズ	360	2.55
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルピーエルシー	334	2.36
第一生命保険株式会社	304	2.15
株式会社みずほ銀行	289	2.05

※当社は自己株式611千株を所有しております。



### 会社概要 (平成24年8月31日現在)

社名 千代田インテグレ株式会社  
 設立 昭和30年9月  
 本社所在地 〒104-0044 東京都中央区明石町4-5  
 資本金 23億3,156万円  
 従業員数 210名(グループ総計 4,634名)  
 主要な事業内容 当社は、OA機器・AV機器・通信機器・自動車関連など各製品の機構部品、機能部品の製造販売を主な事業としております。

### 役員 (平成24年11月29日現在)

代表取締役会長 ..... 丸山 要  
 代表取締役社長 ..... 小池 光明  
 常務取締役 ..... 佐藤 明  
 常務取締役 ..... 村澤 琢己  
 取締役 ..... 及川 彰  
 取締役 ..... 金邊 浩康  
 常勤監査役 ..... 植村 栄治  
 監査役 ..... 山下 明  
 監査役 ..... 遠藤 克博

Renewal

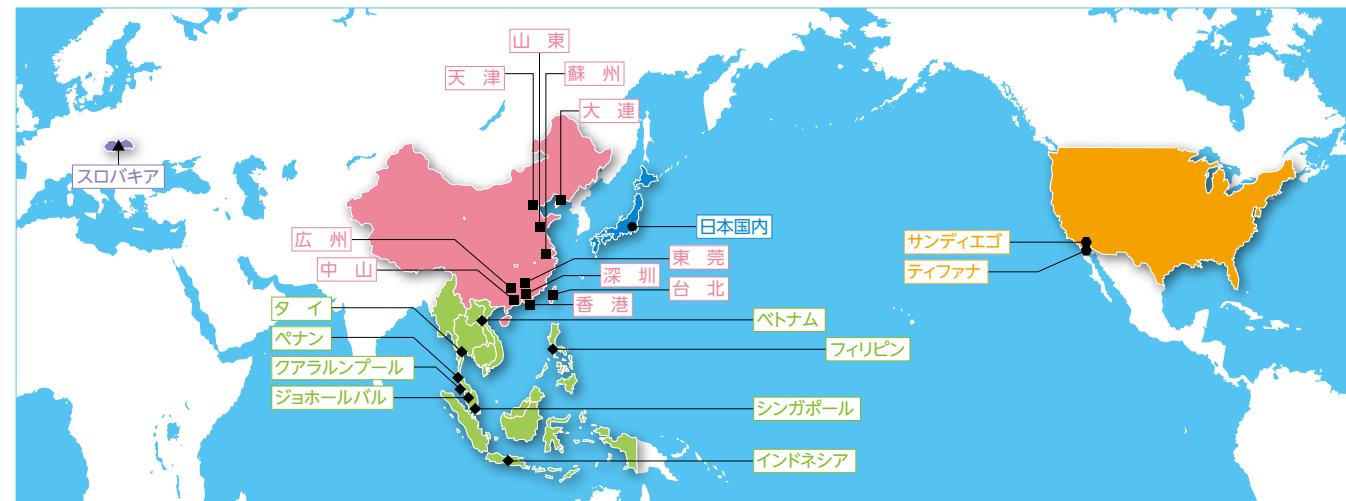
### ホームページリニューアルのご案内!!

このたび、当社ホームページをリニューアルいたしました。千代田インテグレのサービスをはじめ、主要取扱品目や拠点紹介、そしてIR情報など、当社に関するさまざまな情報をご覧いただけます。皆様からのアクセスをお待ちしております。

千代田インテグレ

### 千代田インテグレグループ (平成24年11月29日現在)

当社グループはグローバルな生産体制をとることにより、日本国内にとどまらず幅広いエリアに、低コストかつ短納期で高品質な製品を提供できるネットワークを構築しております。



### 国内

● 本社  
 〒104-0044 東京都中央区明石町4-5  
 TEL. 03-3542-3410(代)

本社・海外部 名古屋営業所  
 関東事業所 関西営業所  
 青森営業所 大阪営業所  
 仙台営業所 広島営業所  
 長野営業所 大分営業所  
 豊橋営業所

子会社  
 サンフェルト株式会社

### 海外

◆ 東南アジア地域  
 シンガポール現地法人  
 CHIYODA INTEGRE CO.,(S) PTE. LTD.  
 マレーシア現地法人  
 CHIYODA INTEGRE CO.,(M) SDN. BHD.  
 CHIYODA INTEGRE CO.,(PENANG) SDN. BHD.  
 CHIYODA INTEGRE CO.,(JOHOR) SDN. BHD.  
 タイ現地法人  
 CHIYODA INTEGRE (THAILAND) CO., LTD.  
 インドネシア現地法人  
 PT. CHIYODA INTEGRE INDONESIA  
 ベトナム現地法人  
 CHIYODA INTEGRE VIETNAM CO.,LTD.  
 フィリピン現地法人  
 CHIYODA INTEGRE (PHILIPPINES) CORPORATION

◆ 北米地域  
 アメリカ現地法人  
 CHIYODA INTEGRE OF AMERICA (SAN DIEGO),INC.  
 メキシコ現地法人  
 CHIYODA INTEGRE DE BAJA CALIFORNIA,S.A.DE C.V.

■ 中国ならびに台湾地域  
 中国現地法人  
 千代達電子製造(香港)有限公司  
 香港商千代達電子製造有限公司在台辦事處  
 千代達電子製造(大連)有限公司  
 千代達電子製造(天津)有限公司  
 千代達電子製造(山東)有限公司  
 千代達電子製造(蘇州)有限公司  
 千代達電子製造(広州)有限公司  
 千代達電子製造(東莞)有限公司  
 千代達電子製造(深圳)有限公司  
 千代達電子製造(中山)有限公司  
 ▲ 欧州地域  
 スロバキア現地法人  
 CHIYODA INTEGRE SLOVAKIA,s.r.o.